

# よえもん

※「よえもん」とは、中江藤樹、幼少の頃の愛称です。



《 第86号 》 (令和5年度第3号) 9月 発行

2学期のスタートです。残暑に  
まけないでがんばりましょう！

よえもん君が了佐でらこ  
や小学校の様子をお伝えし  
ます。



「論語」子帳第十九之六

博く学びて篤く志し  
切に問いて近く思う  
仁其の中に在り。

書 淵田瑞穂さん

厳しい暑さが続いています。2年ぶりに「了佐でらこや小学校」を開校しました。少ない人数でしたが、皆さんの熱意に圧倒された4日間でした。

新聞に記事が掲載されました。皆さんの真剣な表情が素敵です。講師の西川先生も満足そうに見ておられます。今年は参加者が少なく、講師、スタッフは例年通りの人数でしたので、一人ひとりの子どもさんを丁寧に指導ができた先生方はおっしゃっていました。

参加者アンケートから

- 初めて了佐でらこや小学校に参加してうれしかった。
- 友だちもいっぱいできたし、字も上手になった。
- ふじの花作りの工作が楽しく、折り紙で花を折ったら本物みたいでした。
- 論語も学んで勉強になったし習字も先生にコツを教えてもらって成長できた。

この論語は、3千人以上いたといわれる孔子の弟子のなかでも、十哲（最も優れた10人）といわれ文学の才能がある子夏による言葉で、「広く知識を学んで、熱心に目標を定め、わからないことはわかるまで、身近な問題にあてはめて考える。そうした行いのなかにこそ、仁が芽生えてくる。」という意味です。

子夏は、志を持って学び、他の人と関わり、苦楽をともにして、分かち合うことで、相手に対する思いやりの心を育むことが出来ると教えています。



京都新聞2023年（令和5年）8月8日



### その3 陽明園の守り神

中江藤樹や記念館にまつわる  
豆知識のコーナー

記念館北側の陽明園は、めずらしい中国式の庭園で、その入口では大きな龍や獅子が訪れた人を出迎えてくれます。

中国で龍は神様の動物とされ、王様（皇帝）や、立派な人のシンボルにもなっています。雨を降らせる力があり、火事がおこらないように建物の屋根に飾られたりします。

獅子はライオンを中国風にしたもので、悪いものをはねのけて、幸せを招く縁起のいい生き物として親しまれています。また、私たちが神社でよく見る狛犬のルーツでもあります。陽明園の入口には玉（秘）を持つ獅子と、子どもの獅子をあやす獅子が座っています。それぞれ「玉取り」・「子取り」と呼ばれ、狛犬でもよく見るポーズです。

そのほか、獅子の口の中の玉には、「悪いことを言っちゃいけない」という意味もあるそうです。



### 職員だより

9月29日は中秋の名月です。インドで生まれた「ジャータカ神話」というお釈迦様まつわる物語を集めた中に「月にうさぎ」の話があります。昔、うさぎと猿、山犬、カワウソが仲良く暮らしていました。ある時、うさぎは他の三匹に明日は困った人に施しをする日なので食を求める人が現れたら分けて与えるように伝えました。猿はマンゴーを、山犬は肉と牛乳を、カワウソは魚を見つけてきました。うさぎは何も見つけられませんでした。翌日、おなかをすかせた老人の姿に身を変えた帝釈天（天の王）が現れ四匹に食べ物をもとめましたが、うさぎだけが与えるものが何もありません。困ったうさぎは焚火の中に飛び込み、焼けた自分の肉を老人に与えようと思いました。帝釈天はうさぎの尊い心に深く感動し、その徳を永遠に忘れることのないよう月にうさぎの姿を描いて天界に帰っていったとのことでした。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL.FAX (0740)-32-0330